

千葉県知事
森田 健作 様

要 望 書

東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会

要望要旨

貴職におかれましては、平素から東武野田線沿線地域の鉄道輸送整備や地域振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

とりわけ、野田市内の連続立体交差事業の早期完成に向けた貴職のご尽力に対し、深く感謝申し上げます。

東武野田線は、千葉県と埼玉県的主要都市を環状路線として結ぶ重要な鉄道であり、沿線地域の都市機能の集積や住宅開発の進展の動向により、今以上に通勤通学環境の改善や人にやさしいまちづくりの推進が望まれております。

このような中、埼玉県、春日部市、東武鉄道が推進する春日部駅付近連続立体交差事業が、昨年12月に事業認可が告示され、本年度より用地交渉に着手しております。この事業により春日部駅の東武野田線のホームは、現在の1面2線から2面4線に増強され、東武伊勢崎線との連携がさらに強化されることにより、今後千葉県と埼玉県との結びつきがますます強力になっていくものと期待されるものでございます。

鉄道沿線地域の発展は沿線自治体の重要な施策であると共に、鉄道利用者が望む、鉄道輸送網の更なる利便性の向上に応えることも重要な責務であると認識しており、これらのことから、東武野田線は、より一層の広域交通に対応した公共輸送網の整備・充実が強く望まれるところであります。

貴職におかれましては、このような地域の実情をご賢察いただき、特段のご高配、ご尽力を賜りますよう切にお願いするものであります。

要望事項

- 1 東武野田線の輸送力増強及び高架化が図られるよう尽力をお願いしたい。
- 2 東武野田線の春日部駅から運河駅の複線化が図られるよう尽力をお願いしたい。

個別要望事項

■ 東武伊勢崎線・野田線の輸送力増強及び高架化について

【野田市】

- (1) 東武野田線（野田市内）連続立体交差事業の早期完成並びに同事業に合わせた愛宕駅及び野田市駅のバリアフリー化

■ 東武野田線の春日部駅から運河駅の複線化について

【野田市】

- (1) 東武野田線「春日部駅—運河駅間」の複線化の第一歩として、「梅郷駅—運河駅間の複線化」の早期実現

令和2年11月18日

千葉県知事 森田健作様

東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会

会長 春日部市長 石川良三

副会長 さいたま市長 清水勇人

副会長 越谷市長 高橋努

副会長 野田市長 鈴木有

監事 宮代町長 新井康之

監事 杉戸町長 古谷松雄